

事業計画書（変更事業計画書）

記載例

1 事業の名称

出荷・積載計画最適化システム

（該当する事業を選択） ※複数可

- ①積載効率向上に資するシステム・資機材・設備の導入
- ②貨物自動車運送事業者の荷待ち・荷役等時間の削減・把握に資するシステム・資機材・設備の導入

2 事業の完了予定時期

令和8年12月

3 目標とする効果

改善する項目	現状値	目標値	改善率又は増減率	算出方法
荷待ち時間（分）	XX	XX	XX%	対象便ごとに「荷役等開始時刻-到着時刻または受付時刻」を算出し、対象期間（●月～●月）の平均値を算出する
荷役等時間（分）	XX	XX	XX%	対象便ごとに「荷役等終了時刻-荷役等開始時刻」を算出し、対象期間（●月～●月）の平均値を算出する
積載効率（%）	XX	XX	XX%	現状値：●月～●月の平均積載率●%×平均実車率●%=●% 目標値：●月～●月の平均積載率●%×平均実車率●%=●%
その他（ ）				

（注1）荷待ち時間とは、トラックドライバーが運転業務に従事した時間のうち、集貨・配達を行う場所やその周辺の場所において、荷主当該場所の管理者、連鎖か事業者の都合により貨物の受渡しのために待機した時間。

（注2）荷役時間とは、トラックドライバーが行う荷役その他の付属業務に従事した時間

（注3）積載効率は、積載率×実車率です。積載率は、積載重量/最大積載重量による算出を基本としますが、貨物の形状等によっては容積ベースでの算出でも構いません。

※詳しくは「物流効率化」理解促進ポータルサイトをご覧ください。

4 事業の内容（目標の達成手法）

出荷・積載計画最適化システムを導入し、出荷業務のデジタル化及び積載計画の最適化を実施する。貨物量や配送先に応じた効率的な積載計画を作成することで、積載率向上による輸送効率の改善及び荷役作業時間の削減を実現し、物流の生産性向上を図る。

荷主記入欄（取引がある市内運送事業者に関する調書）（※1）

名称	●●運送株式会社
本社住所	〒XXX-XXXX ●●県●●市●町 X-X
市内営業所住所（※2）	〒 — 同上
主な貨物	① 食品・飲料 ② 冷凍食品
主な荷降地（※3）	① 山梨県 ② 藤枝市
年間の取扱貨物量	約●●トン

名称	▲▲運送株式会社
本社住所	〒XXX-XXXX ●●県●●市●町 X-X
市内営業所住所（※2）	〒 — 同上
主な貨物	① 自動車部品 ② 電子部品
主な荷降地（※3）	① 東京都 ② 浜松市
年間の取扱貨物量	約●●トン

（※1）取引がある主な市内運送事業者をご記入ください。

（※2）本社住所が市外の場合にご記入ください。

（※3）都道府県名をご記入ください。なお、静岡県内の場合は市町村名をご記入ください。

倉庫業者記入欄

倉庫の所在地	〒XXX-XXXX ●●県●●市●町 X-X
倉庫の種別	冷蔵倉庫
主な取扱品目	加工肉、卵製品、青果物
入構する主な貨物自動車運送事業者	●●運送株式会社、▲▲運送株式会社